MASPRO

屋外(内)用 VUブースター (家庭用)

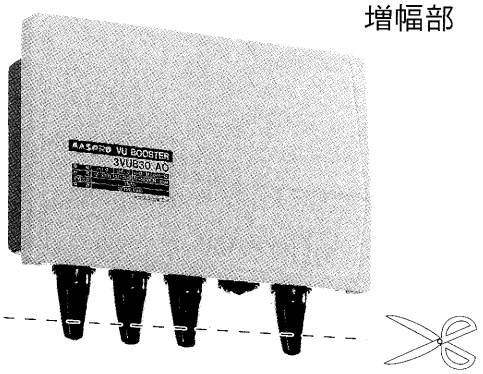
取扱説明書

VHF・UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch 1~12, ch13~39, ch55~62

3VUB30 AO

DC15V方式

30dB型



増幅部

75Ω ケーブルの太さに
合わせて防水キャップ(大)を
切ってください。

むつ地域用

受信チャンネル

函館の局	ch21	テレビ北海道
	ch27	北海道文化放送
	ch35	北海道テレビ放送
岩手のニ戸局	ch29	岩手めんこいテレビ
	ch37	テレビ岩手朝日放送

一部地域では室蘭の局もきれいに受信できます。

電源部

MASter of PROduction
生産の覇者

高性能・高信頼

BC(BS・110°CS)アンテナ対応の高性能電源部

電源部は，本器の増幅部とBS・110°CSアンテナへ同時に給電できますから，VU・BS・110°CSの共同受信にも使用できます。

利得調整回路

VHFの回路に利得調整を内蔵していますから，テレビの入力レベルが簡単に調整できます。

入力レベル調整アッテネーター

UHFの入力回路に，レベル調整アッテネーターを内蔵していますから，電波の強い地域でも使用できます。

優れた機能

全端子電流通過型の分配器に対応 (特許出願中)

電源部の電圧切換スイッチの操作によって，全端子電流通過型分配器の電圧降下分(約1V)を補償できますから，多彩なシステムに対応できます。

VU混合・別入力両用

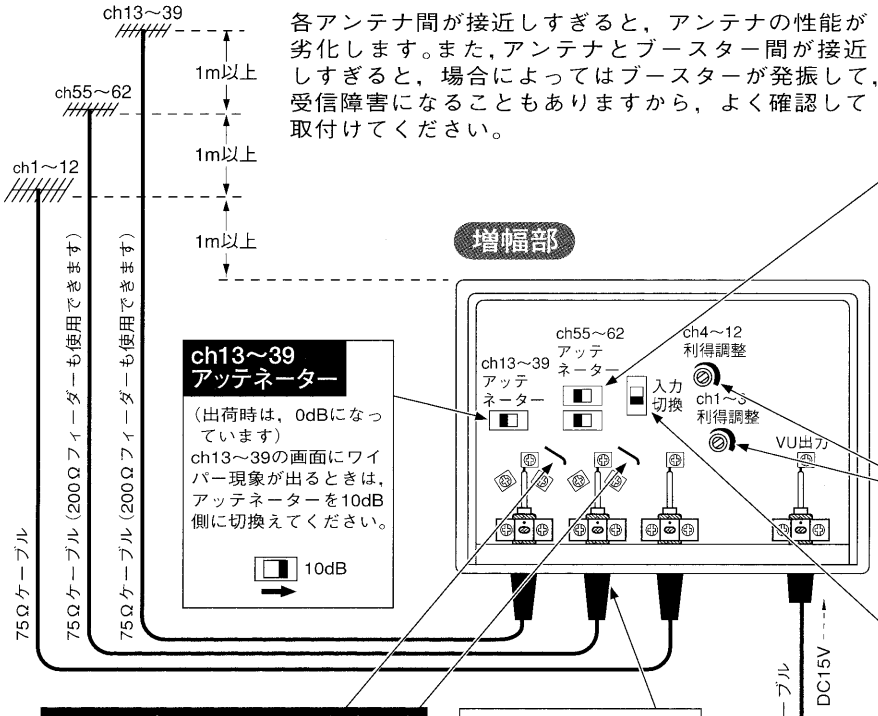
地元の放送局の入力端子が，スイッチによって，VU混合・別入力を切換えられるようになっていますから，VUアンテナやVUミキサーを使用した，1本入力の場合でも使用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」「ブースター使用上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

各アンテナ間が接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。また，アンテナとブースター間が接近しすぎると，場合によってはブースターが発振して，受信障害になることもありますから，よく確認して取付けてください。

各端子の接続は，よく確認して間違えないようにしてください。



ch13～39 アッテネーター

（出荷時は，0dBになっています）
ch13～39の画面にワイパー現象が出るときは，アッテネーターを10dB側に切換えてください。

10dB

ch55～62アッテネーター

（出荷時は0dBになっています）
ch55～62の画面にワイパー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様が出る症状）が出るときは，画面を見ながら，一番きれいに映る位置に切換えてください。

5dBにする場合	10dBにする場合	15dBにする場合
0dB 5dB / 0dB 10dB	0dB 5dB / 0dB 10dB	0dB 5dB / 0dB 10dB

利得調整（出荷時はMIN.になっています）

利得を最大（右）へいっぱいに回した状態にして，画面にワイパー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様が出る症状）が出るときは，症状が消えるまで，ツマミを（左）へ静かに回してください。

インピーダンス切換リード線（赤色）

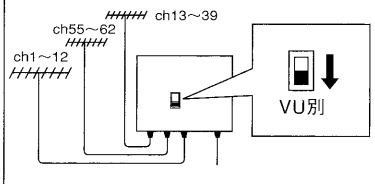
- 75Ωケーブルを接続するときは，赤い線を，必ず外してください。
- 200Ωフィーダーを使用するときは，赤い線を外さないでください。

ch1～12とch55～62が混合入力のときは，この端子に接続してください。

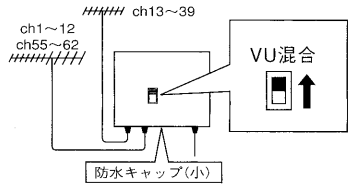
入力切換スイッチの操作方法

（出荷時は別入力になっています）

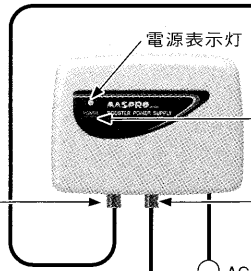
ch1～12とch55～62を別々に入力



ch1～12とch55～62を混合して入力



ケーブルを接続しないときは，付属の防水キャップ（小）を取付けてください。



全端子電流通過型の分配器を使用するときは，使用例をご覧ください。

入力端子
増幅部の出力端子からのケーブルを接続します。

出力端子（テレビへ）
テレビへのケーブルを接続します。

AC100V

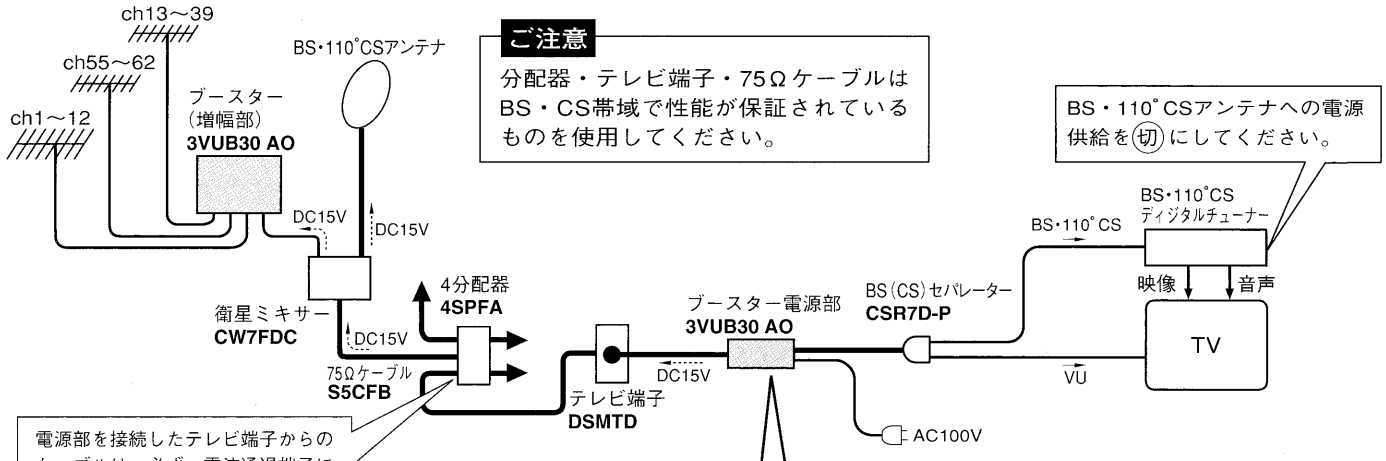
TV

75Ωケーブル

ACプラグ（AC100V）は，取付工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。

使用例

BS・110°CSアンテナへ給電する場合



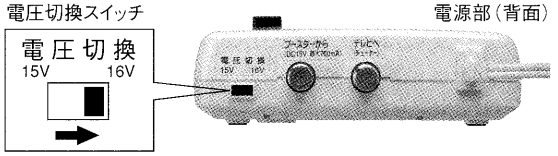
ご注意

分配器・テレビ端子・75Ωケーブルは BS・CS帯域で性能が保証されているものを使用してください。

BS・110°CSアンテナへの電源供給を（切）にしてください。

電源部を接続したテレビ端子からのケーブルは，必ず，電流通過端子に接続してください。

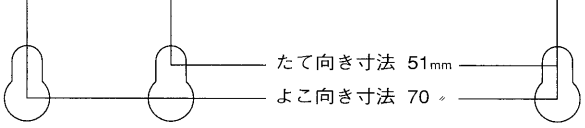
全端子電流通過型の分配器を使用するときは，「電圧切換スイッチ」（ブースターへの電源供給）を必ず「16V」側に切換えてください。
（出荷時は「15V」側にセットしてあります）



全端子電流通過型 分配器

2SPFD-P, 3SPFD-P, 4SPFD-P, 6SPFD-P, 2SPDS-P, 3SPDS-P, 4SPDS-P, 2SPCFD-P, 3SPCFD-P, 4SPCFD-P, 2SPCDS-P, 3SPCDS-P, 4SPCDS-P

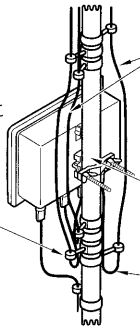
取付方法



電源部の壁面取付寸法（原寸）

増幅部

●マストの場合



200Ωフィーダーを使用する場合，混信をさけるため，フィーダーの間隔をできるだけ離してください。

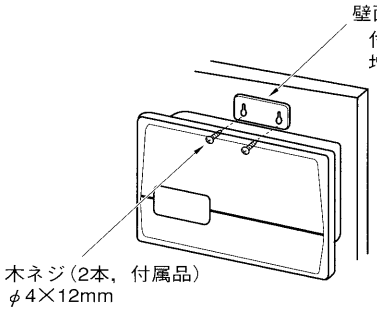
ケースのフタを完全に閉めてください。

適合マスト径 22～48.6mm

引込線の固定には，別売の支柱スタンドオフを使用してください。

アンテナからの引込線は，雨水が入らないようにU字形に配線してください。

●板壁面の場合

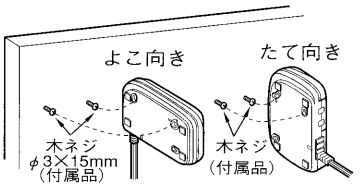


壁面取付金具（付属品）
付属の木ネジ（φ3×10mm）で増幅部に取付けてください。

木ネジ（2本，付属品）
φ4×12mm

電源部

図のように板壁面にも取付けることができます。



ご注意

●電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオから雑音が出ることがあります。できるだけラジオと電源部を離した状態でお使いください。

●電源部は，温度上昇を防ぐため風通しの良い場所に設置してください。
また長期間使用しないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

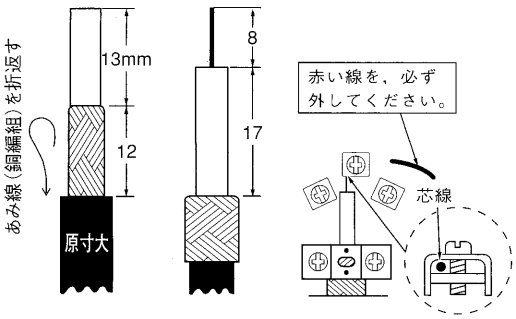
ケーブル・フィーダーの加工

増幅部

付属の防水キャップに通してから，加工してください。

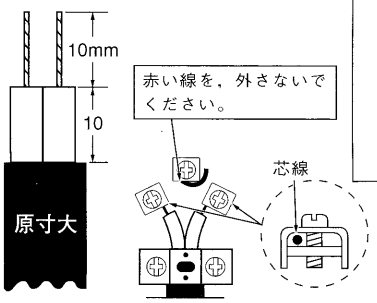
75Ωケーブル（5Cまたは4C）

3Cは芯線が細く，損失も多いため，**5C**または**4C**をお使いください。



200Ωフィーダー

芯線を固くねじってください。



ご注意

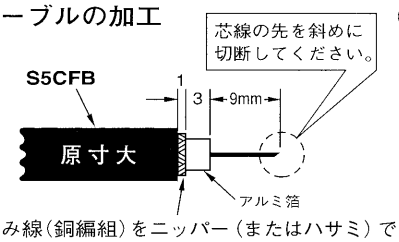
TVアンテナは75Ω用を使用して75Ωケーブルで配線してください。
200Ωフィーダーは，電波のしゃへいが悪いため，配線方法によっては，ブースターが発振して受信障害の原因となることがあります。

電源部

F型コネクター（FP5）の取付方法

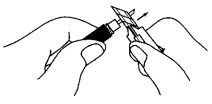
接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工



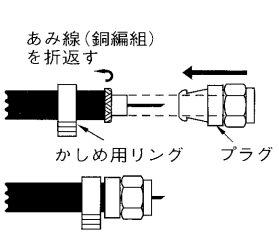
あみ線（銅編組）をニッパー（またはハサミ）で，1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。



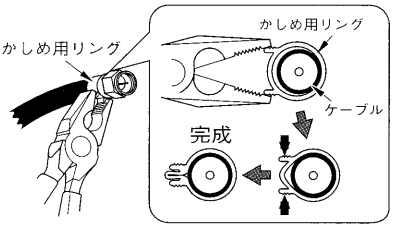
③プラグの取付

1. かしめ用リングに，ケーブルを通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

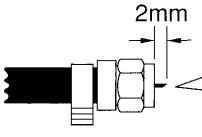


④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は，まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

①入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
②入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
③アンテナマストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナとブースター(増幅部)の間隔を1m以上離してください。

詳しくは，別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

よい画質が得られないときは

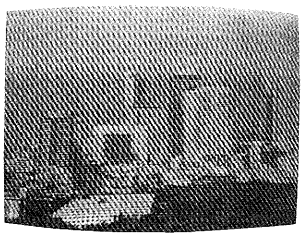
配線と各部の操作が間違っていないか，もう一度よく読んで確認してください。

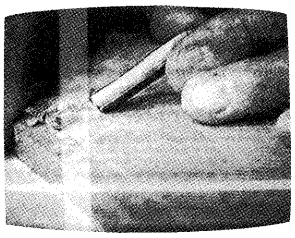
●画面が出ない場合，または，著しくスノーノイズが出る場合

①増幅部のVU出力端子にDC14～15Vがきていますか。
②各配線が断線またはショートしていませんか。
③入力切換スイッチが正しく操作してありますか。
④各アンテナからの入力レベルが最小入力レベルVHF：36dBμ(がまん限)，UHF：38dBμ(がまん限)以上になっていますか。

●画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

①他の電波との混信がありませんか。(外部からくる混信電波を止める以外方法はありません)各アンテナの方向を変えて画像が一番良くなるように，調整してください。
②各アンテナからの入力レベルが，最大入力レベル以下になっていますか。(最大入力レベルはch1～3:82dBμ，ch4～12:77dBμ，ch13～39:72dBμ，ch55～62:80dBμ)入力レベルが高い場合，入力端子に別売の減衰器**ATT6KFD, 10KFD, 15KFD, 20KFD**を使用してください。


ビート縞


ワイパー現象

規格表

(電気的特性は，JEITA表示法による)

増幅部 MASPRO

帯域 / 項目	VHF		UHF	
	ch1～3	ch4～12	ch13～39	ch55～62
利得	17～23dB	22～28dB	27～33dB	24～30dB
利得偏差(P/V)	3dB以内		5dB以内	
入力レベル調整ATT	——		10dB	5dB，10dB
利得調整範囲	0～⊖10dB以上(連続可変)	0～⊖10dB以上(連続可変)	——	
実用入力レベル	36(がまん限)～72dBμ(※1 82dBμ)	36(がまん限)～67dBμ(※1 77dBμ)	38(がまん限)～62dBμ(※2 72dBμ)	38(がまん限)～65dBμ(※3 80dBμ)
定格出力レベル	95dBμ			
混変調／相互変調	⊖46dB以下／⊖53dB以下		⊖46dB以下／——	
雑音指数	2～4dB		3～6dB	
VSWR	3以下			
入力インピーダンス	75Ω		75Ω，200Ω	75Ω，200Ω
出力インピーダンス	75Ω			
電源	DC15V 0.08A			
使用温度範囲	⊖20～⊕40℃			
外観寸法	130(H)×199(W)×73(D)mm			
質量(重量)	約410g			

実用入力レベルの最小値(がまん限)は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
※1 は利得を最小にしたときの最大の実用入力レベルです。
※2 は内蔵の入力レベル調整アッテネーターを10dBにしたときの最大入力レベルです。
※3 は内蔵の入力レベル調整アッテネーターを15dBにしたときの最大入力レベルです。

電源部 MASPRO

項目	規格
1次電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	AC100V 50・60Hz 2.6W (BSコンバーター給電時:6.9W)
直流出力電圧・電流	DC15V 0.08A (BSコンバーター給電時:0.35A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクター)
挿入損失	2dB以下(76～2602MHz)
使用温度範囲	0～⊕40℃
外観寸法	40(H)×124(W)×99(D)mm
質量(重量)	約250g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ（大）…… 4個
防水キャップ（小）…… 1個
壁面取付金具（増幅部用）…… 1個
木ネジ3×10mm（増幅部壁面取付用）‥2本
〃 4×12mm（ 〃 ）‥2本
〃 3×15mm（電源部壁面取付用）‥2本
F型コネクター（電源部5Cケーブル用）‥2個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
青森営業所 〒030-0965 青森市松森1-2-8
TEL (017)742－4227

MASter of PROduction 生産の匠者
2K55-452
B-210-4452-2L
OCT., 2002